

# 個人投資家の皆様へ 会社説明会

2013年12月14日(大阪)

証券コード 3023



ラサ商事株式会社

<http://www.rasaco.co.jp/>

## 【目次】

第1部	当社の概要	P2～P7
第2部	当社の強み	P8～P12
第3部	事業の特徴	P13～P22
第4部	業績の見通し	P23～P26
第5部	中期経営計画	P27～P32
第6部	関連用語集	P35～P38

# 第1部：当社の概要

2

## 社名の由来

### ラサ商事株式会社

- 沖縄県に属する「沖大東島」の通称「ラサ島」に由来
- このラサ島でリン鉱石を採掘したのが、ラサ工業(株)



#### 当社設立(1939年)～

##### 【設立当初】

- ラサ工業(株) (東証1部、証券コード4022) の営業部門を分離独立して設立

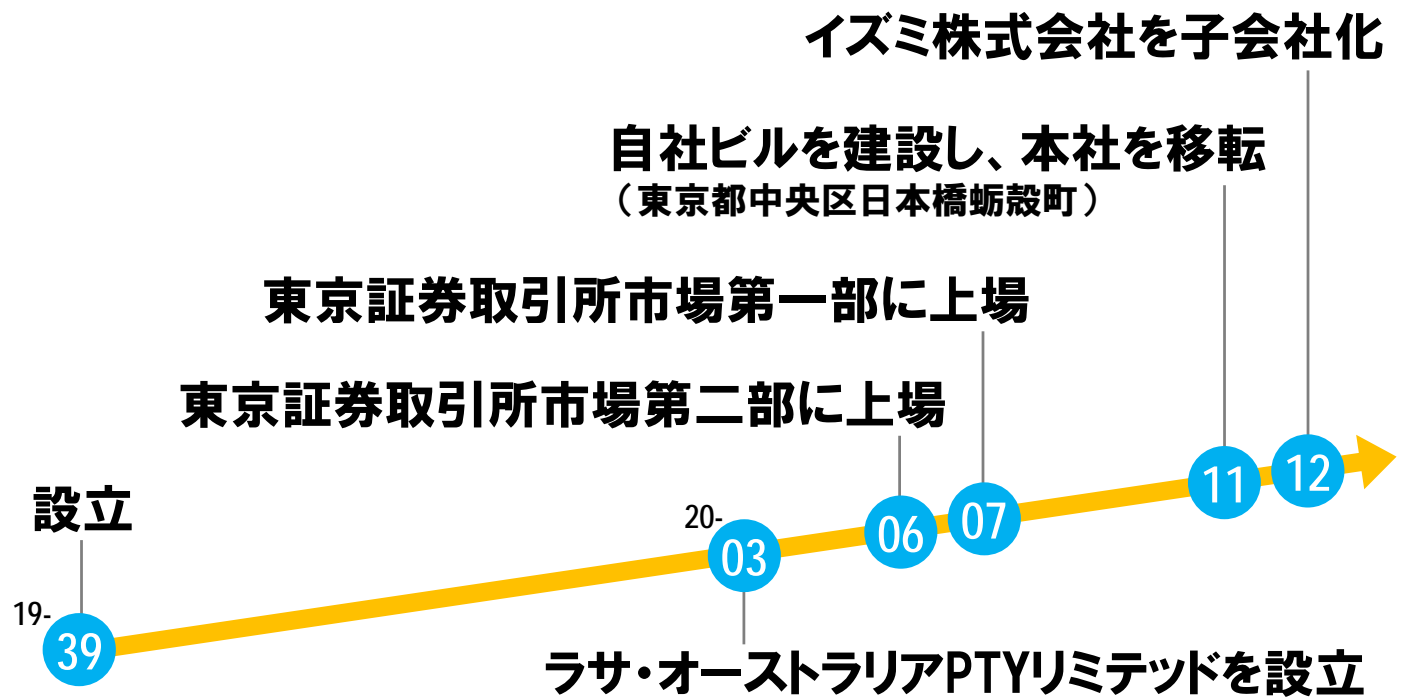
##### 【現在】

- 現在は**独立系商社**として発展
- ラサ工業(株)とは、**建設機械等**において良好な取引関係を継続

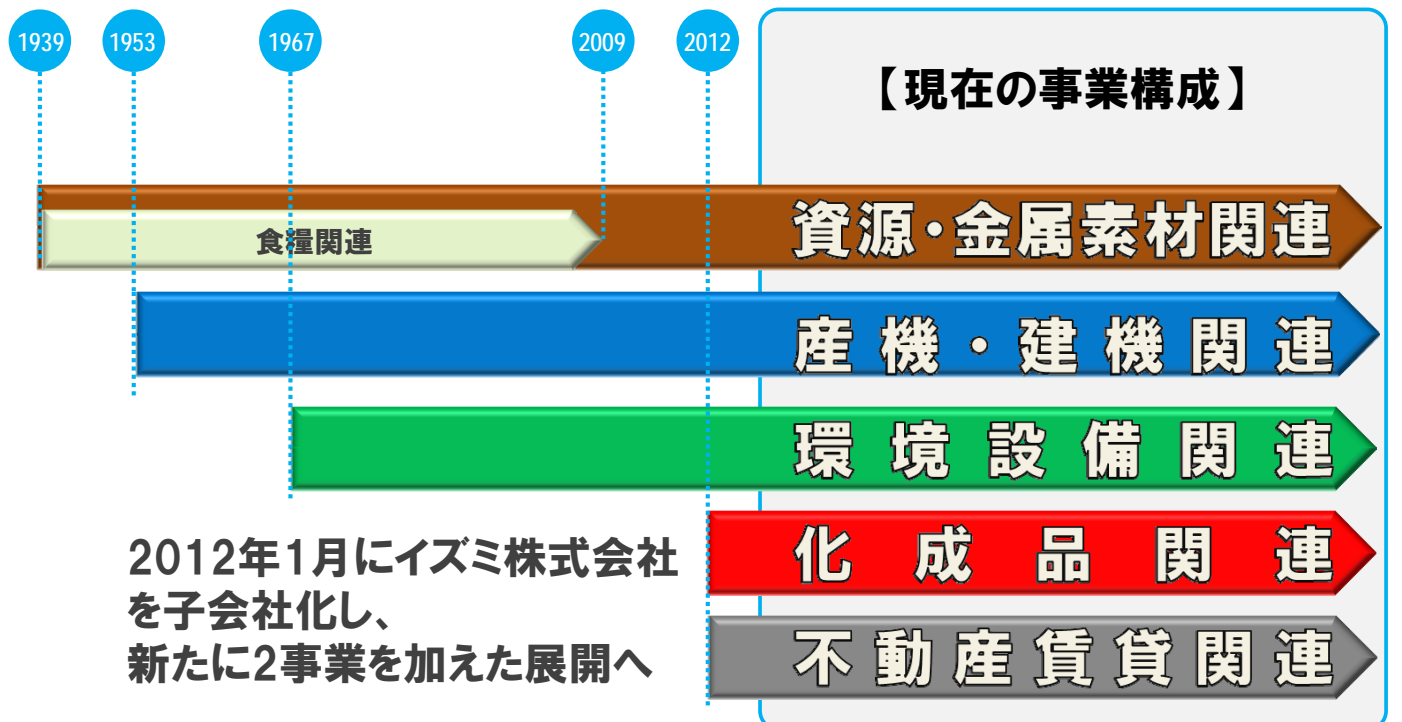


3

# ラサ商事の直近10年間の動向

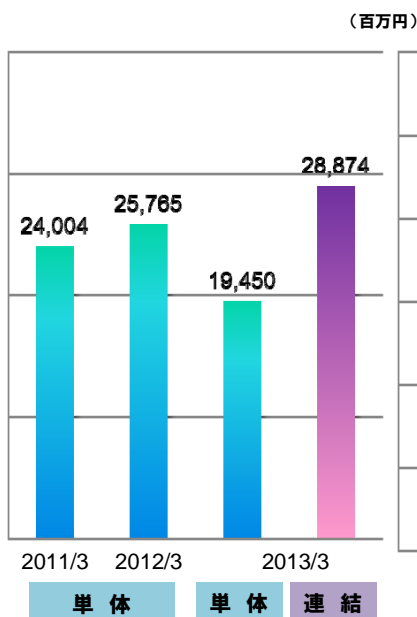


# 事業の変遷 <事業拡大の推移>

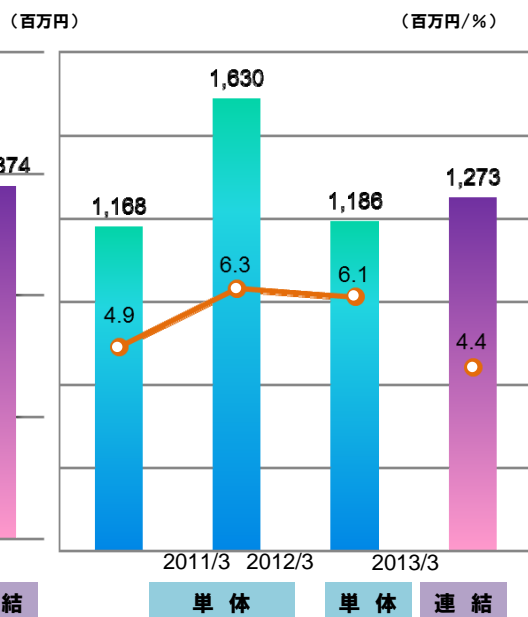


# 業績の推移

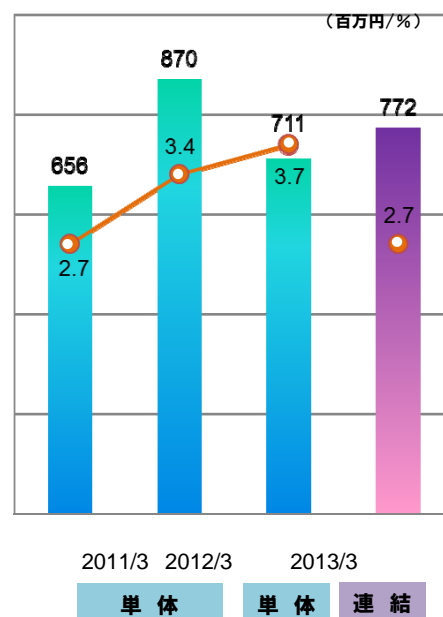
## 売上高



## 営業利益 売上高営業利益率



## 当期純利益 売上高当期純利益率



# 第2四半期(中間)の業績

## ● 売上高はほぼ計画通り、販管費を圧縮し、利益は予想比プラスの結果


(単位:百万円・%)

	2013年9月期 当初予想	2013年9月期 実績	増 減	増減率	2012年9月期 (前年実績)
<b>売上高</b>	11,450	11,751	301	2.6	14,760
資源・金属素材関連	-	4,141	-	-	6,241
産機・建機関連	-	3,119	-	-	3,041
環境設備関連	-	508	-	-	670
化成品関連	-	3,903	-	-	4,738
不動産賃貸関連(その他)	-	78	-	-	67
<b>売上総利益</b>	1,720	1,723	3	0.2	1,991
販売費及び一般管理費	1,660	1,568	▲92	▲5.5	1,606
営業利益	60	155	95	158.3	385
経常利益	70	193	123	175.7	392
四半期純利益	32	61	29	90.6	192
1株当り四半期純利益(円)	2.82	5.40	2.58	91.5	16.99



## 第2部：当社の強み

8

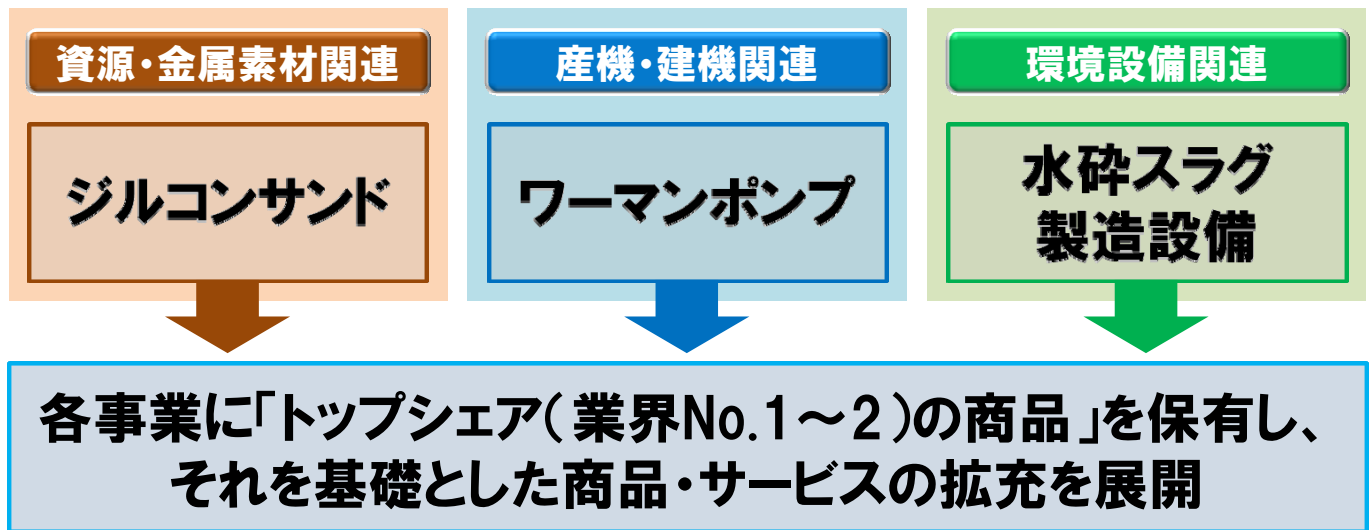


### 当社グループの強み

- ① ニッチ市場における“トップシェア”を構築
- ② 「商社の枠組み」を超えた機能・ノウハウ
- ③ 財務の高い健全性を確保

9

## 強み① ニッチ市場における“トップシェア”を構築



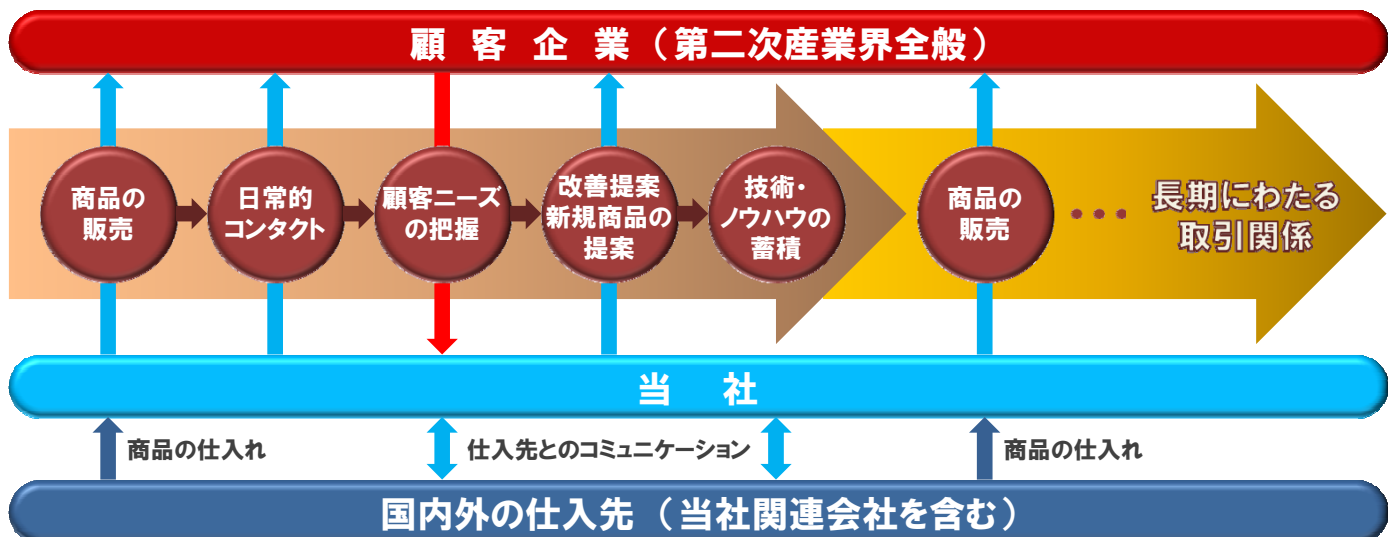
## 収益の安定性

10

## 強み② 「商社の枠組み」を超えた機能・ノウハウ

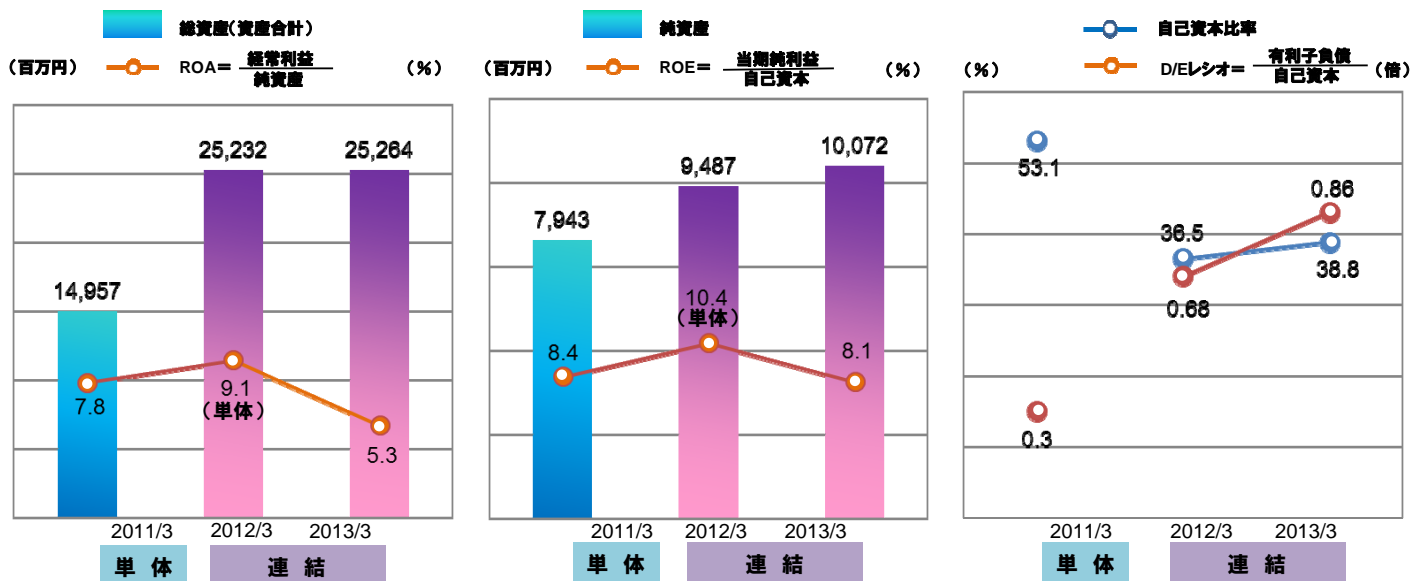
### 提案型営業力

“非”汎用品を中心とした商品展開による提案型の営業活動



11

# 強み③ 財務の高い健全性を確保



将来の成長に向けた設備投資やM&Aなどを  
適時的確に実施していくことができる盤石の財務基盤

## 第3部：事業の特徴

# 1. 資源・金属素材関連事業の特徴

## ① ジルコンサンド 国内No.1サプライヤー



▲鉱山(オーストラリア)



▲結晶(拡大写真)

- ジルコンサンドの産地は世界的に限定的  
→生産量世界第1位のアイルカ社(オーストラリア)との間で、国内における総販売代理店契約
- 国内販売シェア50%超



# 1. 資源・金属素材関連事業の特徴

## ② 年間売上10億円規模の新商材が順調に育成

2008年～

10億円新商材  
育成プロジェクト

を展開

### 金属シリコン

2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
9.8億円	12億円	17億円	22億円 (予想)

- アルミ二次合金メーカー向(自動車用等)
- 太陽電池ウェハー用途向など

### 輸入原料

(アルミナ系原料・黒鉛など)

2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
9.0億円	12.1億円	9.6億円	15億円 (予想)

- リチウムイオン電池向・・・球状黒鉛
- 高級耐火材原料・・・仮焼アルミナなど



## 2. 産機・建機関連事業の特徴

### ① 国内シェアNo.1を争う「スラリーポンプ」分野を構築

\* スラリーポンプ: 固形物が混ざった液体を送ることができる高耐性の特殊ポンプ



ワーマンポンプ  
(シリーズA)



ワーマンポンプ  
(GSLシリーズ)



ヒドロスタルポンプ



NSポンプ  
(FL型)



フェルバポンプ  
(Wホースダイヤフラムピストンポンプ)



フォーゲルサン  
ロータリーポンプ



プッツマイスターポンプ  
(ピストンポンプ HSPシリーズ)



タカサゴポンプ  
(VMK型 多段渦巻ポンプ)



URACA高圧プランジャーポンプ



マンホールポンプ  
(フロスタルマンホールポンプシステム)

## 2. 産機・建機関連事業の特徴

### ② ワーマンポンプ

メンテナンス性に優れ、耐食・耐磨耗ポンプで業界トップクラス



材質の交換により  
様々な液体に対応

化学・電力・製鉄など  
あらゆる産業で活躍

#### ■ 主な納入実績

S製鉄	約1,000台
J製鉄	約500台
T社(電機)	約500台

## 2. 産機・建機関連事業の特徴

### ③ 全国をカバーする技術サポート体制を構築

#### ラサ商事

本社・支店・営業所：10拠点

機械センター：5拠点



全国の  
施工・メンテ専門の  
協力会社

長年にわたる強固な信頼関係に基づく協力体制のもと  
全国のお客様に対して確かな技術サポートを提供  
(=当社の技術ソリューション提供力の基盤)

## 3. 環境設備関連事業の特徴

### ① 「水砕スラグ製造設備」のパイオニア

1967年に世界で初めて水砕スラグ製造設備のクローズド・システムを開発



● 製鉄所に必要不可欠な環境保全技術

#### 【装置の概要】

銑鉄生産時に高炉から発生する副産物である熔融スラグを最適処理し、再利用を可能にする技術

● 生成されたスラグは、主にセメント業界で再利用

### 3. 環境設備関連事業の特徴

2

#### 業界随一の豊富な経験と実績

●「ラサ・システム」を導入している製鉄所



20

### 4. 化成品関連事業の特徴

1

#### 合成樹脂・化成品の専門商社

##### 主な取扱品目

- プラスチック（合成樹脂、樹脂添加剤）
- シート・フィルム・テープ  
（各種樹脂フィルム、金属箔、ほか）
- 各種加工製品（押出製品、射出製品、ほか）
- 油脂・ケミカル（ケミカル、その他化学品）

供給

自動車分野  
建材分野  
電気・電子分野  
など

2

#### メーカー機能を保有（様々な樹脂の混練加工）

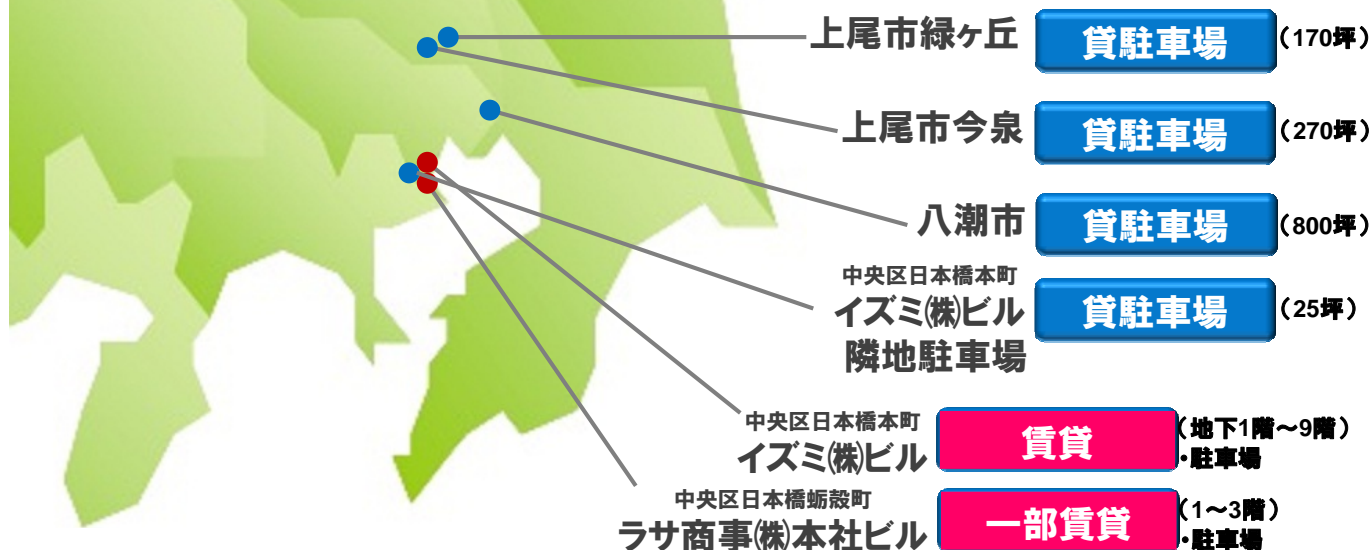
- 飯能工場（埼玉県）：ISO9001（品質マネジメントシステム）  
KES（環境マネジメントシステム）

21

## 5. 不動産賃貸関連事業の特徴

### 賃貸不動産を運用する事業部門を設け、収益に貢献

【本社ビルと活用予定の賃貸不動産】



22

## 第4部：業績の見通し

23

# 1. 業績の見通し（連結）

## ● 売上高は減少、販売費及び一般管理費を圧縮するも減益見通し

（単位：百万円・％）

	2013年3月期 実績	2014年3月期 予想	増 減	増減率
売上高	28,874	27,000	▲1,874	▲6.5
資源・金属素材関連	10,655	9,400	▲1,255	▲11.8
産機・建機関連	7,263	7,990	727	10.0
環境設備関連	1,478	1,640	162	11.0
化成品関連	9,334	7,800	▲1,534	▲16.4
不動産賃貸関連(その他)	142	170	28	19.7
売上総利益	4,476	4,560	84	1.9
販売費及び一般管理費	3,202	3,330	128	4.0
営業利益	1,273	1,230	▲43	▲3.4
経常利益	1,346	1,300	▲46	▲3.4
当期純利益	772	686	▲86	▲11.1
1株当り当期純利益(円)	68.06	60.46	▲7.6	▲11.2

24

# 2. 配当

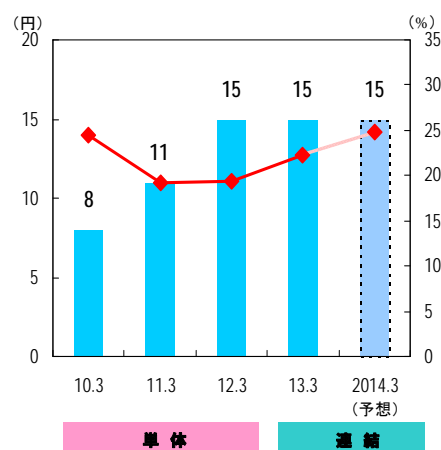
## ● 配当方針

- 安定配当を行なうこと
- 配当性向20%前後を維持すること

2013年3月期 15円 22.0%

2014年3月期 15円 24.8%(予定)

## ■ 配当金・配当性向



25

### 3. 株主優待

#### 対象株主

- 毎年3月31日現在の100株以上保有の株主

#### 内 容

- 保有期間1年以上：  
1,000円相当のオリジナルQUOカード
- 保有期間1年未満：  
500円相当のオリジナルQUOカード
- 公益財団法人「緑の地球防衛基金」への寄付  
(株主様1人当たり 50円)
- 認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを  
日本委員会(JCV)」への寄付  
(株主様1人当たり 60円)



＜特徴＞  
優待制度に社会貢献が  
組み込まれている

## 第5部：中期経営計画

# 1. 中期経営計画について

## 2つの大きな経営判断

- ・2011年10月 本社ビル建設
- ・2012年 1月 イズミ(株)を子会社化

2012年4月～  
フル連結によるグループ経営

2013年8月  
イズミ → ラサ本社へ移転

2013年3月期  
(2012.4～2013.3)

2014年3月期  
(2013.4～2014.3)

2015年3月期  
(2014.4～2015.3)

2016年3月期  
(2015.4～2016.3)

## 新たな経営基盤の整備期間

- ・イズミ(株)の経営及び事業把握
- ・事業運営体制の見直し(整備・強化)

## グループシナジー創出への取り組み

- ・両社の商品およびネットワークの相互活用による、売上・利益の拡大
- ・管理部門コスト、金融コスト等の効率化

## グループ経営体制の構築により

## 新たな高収益構造を築く

目 標:2016年度に過去最高益を目指す

中期経営計画「New Challenge Rasa2015  
～飛躍に向けた第一歩～」

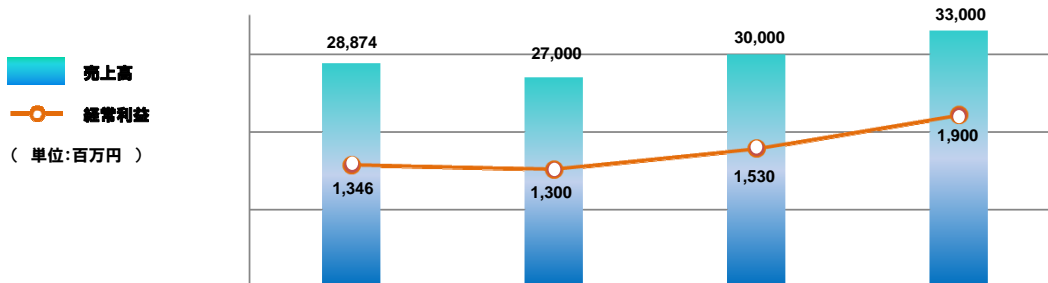
28

# 2. 中期経営計画における経営目標

## ●経営指標

- ①総資産経常利益率 (ROA) は10%以上
- ②自己資本比率は50%以上
- ③自己資本当期純利益率 (ROE) は12%以上

## ●経営目標



( 単位:百万円 )

	実績	中期経営計画		
	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
売上高	28,874	27,000	30,000	33,000
営業利益	1,273	1,230	1,450	1,800
経常利益	1,346	1,300	1,530	1,900
当期純利益	772	686	890	1,100

29

### 3. 成長戦略 ①資源・金属素材関連

#### ★ 既存事業の深掘りと事業進化

- ジルコンサンド製品の多様化
- 輸入原料の高付加価値化

#### ★ 成長分野への注力と新市場の創造

- エネルギー用途原料への注力
- 中国、東南アジア諸国、インドの市場拡大



▲ジルコンサンド



▲金属シリコン



▲鱗状黒鉛

### 3. 成長戦略 ②産機・建機関連

#### ★ 既存事業の深掘りと事業進化

- 更新需要の喚起とメンテナンスサービス体制の一層の充実

#### ★ 成長分野への注力と新市場の創造

- 石炭火力発電関連分野へ注力
- 機能性材製造業向に注力
- バイオマス、バイオガス分野への注力
- 下水道BCP(津波、高潮、豪雨)対応の汚泥ポンプの開発

#### ■ 今後の展開

- CCT (Clean Coal Technology) 【クリーンコールテクノロジー】  
石炭を燃やしたときに発生する二酸化炭素・硫黄酸化物・窒素酸化物などの有害物質を減少させる技術
- 機能性材料  
材料の種類を大きく二つに分けると、その強度を利用する構造的な材料と機能を利用する機能性材料に分けることができます。前者は建物や乗物その他を構築する上で必要であり、後者は触媒、センサー、エネルギー変換等で必要とされます。



▲ワーマンポンプ



### 3. 成長戦略 ③環境設備関連

#### ★ 既存事業の深堀りと事業進化

- 既存ラサ・システム導入先に対する提案・販売の積極化  
(自動運転、省エネ運転、ランニングコスト低減商品など)

#### ★ 成長分野への注力と新市場の創造

- 石炭ガス複合発電(IGCC・IGFC)スラグ処理へのラサ・システムの販売
- 非鉄製錬ユーザーに対するラサ・システムの販売

#### ■ 今後の展開

##### ● 水砕スラグ製造設備

製鉄所の高炉の付帯設備。

製鉄業界では「ラサシステム」として世界的に知られている。

製鉄造過程で発生する副産物の「熔融スラグ」をセメント原料などとして再利用できるように高圧水で急冷・粒状化する設備で、製鉄所において不可欠な設備となっている。

##### ● IGCC

「Integrated coal Gasification Combined Cycle」の略。

従来の石炭火力発電よりも発電効率が高く、石炭を燃料とする発電方式の中ではCO2の排出量が最も少ない発電方式。

水砕スラグ製造設備



## 株価の推移

● 株価 (2013年11月29日終値)

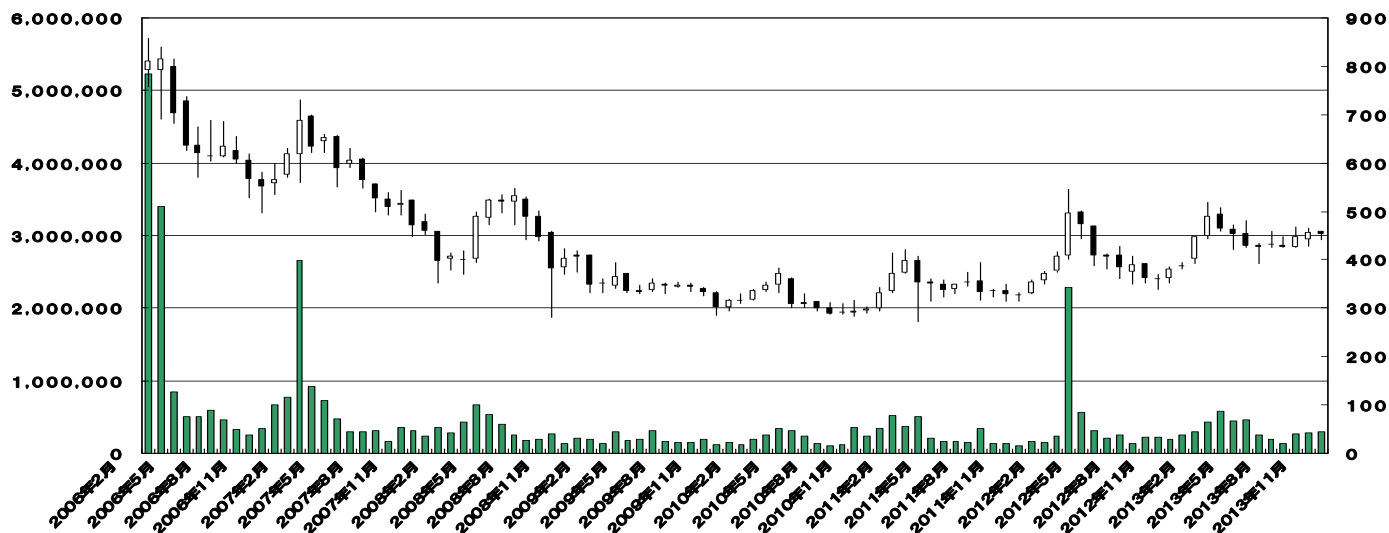
453円

予想配当利回り

3.31%

PBR (2013.3)

0.51倍





## ● 注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## ● IRに関する問い合わせ先

ラサ商事株式会社 経営企画室

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目11番5号 RASA日本橋ビルディング

TEL : 03-3668-8232

URL : <http://www.rasaco.co.jp/> \*「お問い合わせ」をクリックしてください。



## 第6部：関連用語集

# 1. 資源・金属素材関連

用語	内容
ジルコンサンド	オーストラリア、南アフリカが2大生産地である天然鉱石。 「融点が高い」「比重が大きい」「硬い」などの特性を活用し、スマートフォンやタブレットPCのタッチパネルの素材、風力発電用の部品向けジルコン加工品の原料、半導体業界でのICチップの鏡面加工研磨材や、PDP(プラズマディスプレイパネル)の原料など産業界において幅広く使用されている。
金属シリコン	珪石(ケイ素《Si》と酸素《O2》が主原料)を電気炉で精錬し、酸化物を還元したもの。 自然エネルギーとしての太陽電池用シリコンウエハー原料、半導体シリコンウエハー原料、自動車用アルミ合金添加物などに使用されている。
ジルコニア	ジルコンサンドを電気炉で溶融し、酸化ジルコニウムを98%以上にした製品。 「融点が高い」「強度が大きい」「化学的に中性で安定している」などの特徴がある。 液晶やプラズマディスプレイガラスの溶融耐火材や、自動車や電車の車両のブレーキ材料、光学レンズ研磨材など幅広く使用されている。

# 2. 産機・建機関連

用語	内容
スラリーポンプ	固形物を含む液体の混濁液(スラリー液)を送るポンプ。
ワーマンポンプ	オーストラリアのワーマン社で開発されたポンプ。 液体の性状に合わせて接液部の材質をゴム、金属の組合せに変更できる高機能なポンプ。 磨耗性や腐食性のある液体や強酸・強アルカリスラリー液を送ることが出来る。 また磨耗した接液部を交換することで半永久的に使用することができるという特徴を持つ。 化学、排水処理、製鉄、非鉄金属、発電所、鉱業、精錬、製紙、窯業、食品、上下水道等多岐に渡る分野で使用されている。
ヒドロスタルポンプ	スイスのヒドロスタル社で開発されたポンプ。 もともとは水産業で魚を傷つけずにポンプ搬送することを目的に開発されたもので、その特徴から壊れやすい固形物の非破壊流送や、長い繊維状のものを閉塞させることなく送液することができる。この特徴を生かして、下水処理場、し尿処理場を主として、製紙(湿式不織布)、食品、化学等で幅広く使用されている。
シールド掘進機	地下鉄や下水道などのトンネルの掘削に使用される機械。 当社の建設機械における主力商品で、当社は下水管やケーブル管理設用の比較的小さな口径の製品をインフラ整備用に納入している。

### 3. 環境設備関連

用語	内容
水砕スラグ製造設備	製鉄所の高炉の付帯設備。 製鉄業界では「ラサ・システム」として世界的に知られている。 鉄製造過程で発生する副産物の「熔融スラグ」を、セメント原料などとして再利用できるように高圧水で急冷・粒状化する設備で、製鉄所においては不可欠な設備となっている。
IGCC	石炭ガス化複合発電。 「Integrated coal Gasification Combined Cycle」の略。 石炭をガス化して得られる高温ガスをガスタービン燃料として発電すると同時に、石炭ガス化炉で得られる蒸気とガスタービンの排熱を回収して得られる蒸気を用いて蒸気タービンでも発電を行う高効率の複合発電技術。 IGCCでは、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせることによって高い熱効率が達成される。
IGFC	石炭ガス化燃料電池複合発電。 「Integrated coal Gasification Fuel Cell combined cycle」の略。 石炭をガス化して得られるガス化燃料を利用し、燃料電池、ガスタービン、蒸気タービンの3種類の発電形態を組み合わせた、トリプル複合発電を行う高効率発電技術。実現すれば55%以上の送電端効率が可能となり、既存の微粉炭火力に比べてCO2排出量を約30%低減することが見込まれる。
CCT	クリーンコールテクノロジー 「Clean Coal Technology」の略。 石炭を燃やしたときに発生する二酸化炭素・硫黄酸化物・窒素酸化物などの有害物質を減少させる技術。

### 4. 化成品関連

用語	内容
塩ビコンパウンド	「ポリ塩化ビニルコンパウンド」の略。 「ポリ塩化ビニル」は、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリスチレンとともに四大プラスチックの一つ。 「コンパウンド」は、英語の「compound」で、「混ぜ合わせる」の意。 自動車の内外装部品、建材、電線のシース材などに幅広く使用されており、イズミ(株)の主力商品の一つである。
KES	「環境マネジメントシステム」の規格。 「Kyoto Environmental Management System Standard」の略。 環境マネジメントシステムとしては、ISO14001が最も有名であるが、これと同様にKESは「グリーン調達」として、取得企業に対する優遇制度がある規格である。 イズミ(株)は2009年5月にこの規格を取得した。